

県図なう。

鹿児島県立図書館の“今（ナウ）”をお知らせし、図書館と利用者を結ぶ情報紙です。

令和2年6月15日 発行
第111号（毎月15日発行）
Tel : 099-224-9511
http://www.library.pref.kagoshima.jp



鹿児島県立図書館

ホットニュース



「県図をもっと身近に、暮らしのなかに」

— とても便利な「利用者ポータルサイト」の御案内 —



スマホやパソコンで「鹿児島県立図書館」のホームページを検索すると、左の画面が出てきます。このトップページの右上に、「利用者ポータル」というボタンがあります。

このボタンをクリックすると、「利用者ポータルサイト」につながります。御自分のカード番号、氏名、生年月日を入力し、パスワードを登録すれば、「貸出状況、返却日の確認」「借りている本の延長手続き」「本の予約」などが、いつでもどこでも、画面上で操作できます。便利な機能ですので、是非御利用ください。詳しくは当館内の案内チラシやホームページで御確認ください。



図書館で探そう、調べよう!

～レファレンス(調査相談)事例から～ 「アヒルは日本にいつ来たのか」

普段「当たり前」だと思っていることに、ふと疑問を持つと、どのように調べればいいのか、司書でもアプローチに悩むことがあります。今回の「アヒルが日本にいつ来たのか」もそのたぐいの質問でした。

まずは王道、アヒルは動物・鳥なので、動物図鑑や鳥類図鑑をいくつか当たりましたが、生態などは載っていても探している答えは見つかりません。

次に、困ったときの百科事典、『日本大百科全書』(小学館 1984年)をめくってみました。百科事典は開いてみると意外と情報が多く、答えはもちろん、手がかりをつかみたいときに活躍します。が、今回探している内容は見つけることができませんでした。

次に視点を変えて、アヒルは“家畜”でもあることから、家畜に関する本を調べてみることにしました。すると、『畜産総合事典』(小宮山鉄朗/編集 朝倉書店 1997年)に「日本のアヒルの伝来は12～13世紀に中国から伝えられたと考えられている」という記述がありました。他にも『日本の家畜・家禽』(秋篠宮文仁/監修・著 2009年)、『家畜文化史』(加茂儀一/著 法政大学出版局 1978年)にも類似の内容があったので、これらの本を紹介しました。

「当たり前」に思っていることを改めて調べてみるのも調査の勉強になるな、と感じた事例でした。

新着図書案内

《一般図書》 6月12日(金)

- 『三浦按針』 森良和/著 東京堂出版
- 『コロナの時代の僕ら』 パオロ・ジヨルダノ/著 飯田亮介/訳 早川書房
- 『コピーライターじゃなくても知っておきたい心をつかむ超言葉術』 阿部広太郎/著 ダイヤモンド社
- 『星を楽しむ双眼鏡で星空観察』 大野裕明, 榎本司/著 誠文堂新光社
- 『LGBTストーリーブック』 ジェロム・ボレー/著 北丸雄二/訳 サウザンブックス社

《児童図書》 6月23日(火)

- 『いろいろおてつだい』 えがしらみちこ/作 小学館
- 『ジェンと星になったテリー』 草野あきこ/作 永島壮矢/絵 岩崎書店
- 『紙ひこうき、きみへ』 野中終/作 木内達朗/絵 偕成社
- 『まっしょうめん! (3)』 あさだりん/作 新井陽次郎/絵 偕成社
- 『オオカミの時間』 三田村信行/作 佐々木マキ/絵 理論社

催し物の御案内

親子読書研修会 **中止** のお知らせ

7月5日(日)に予定しておりました、「令和2年度親子読書研修会」を諸般の事情により中止にいたしました。

「おはなしのじかん」再開します！

これまで休止していました児童文化室の「おはなしのじかん」を6月17日から再開いたします。

「三密」を避けるため、広い場所での実施を予定していますので、御家族ごとにレジャーシートを準備いただき、十分な間隔を取って座っていただきますようお願いいたします。

毎週水曜日 15:30から

第3土曜日 14:00から

場所は当日御案内します。



図書館職員のつぶやき

私には、長年頼りにしている司書がいる。曖昧な私の依頼でも丁寧に聞き取り、検索エンジンよりも明確なキーワードを導き出し、期待通りの本を手渡してくれる。

ふらっと図書館を訪ねると、私好みの本ばかりか、時には、私の母へのお薦め本も紹介してくれる。驚くことに、彼女は母と面識がない。何気なく交わした私との会話から、母の趣向にあった本を紹介してくれるのだ。さらに驚くことに、その本はすでに母の愛読書であることも多い。

インターネットの広告画面にも、「あなたにオススメ」が表示されるが、何か違う。信頼する司書が、その「目」で選び、その「手」で渡してくれる本がいいのだ。

「感動は人生の窓を開く。」椋鳩十氏の言葉であるが、私は彼女にいくつの窓を開けてもらったことだろう。

司書とは、私にとって「本のソムリエ」なのだ。

今日も、各図書館で、腕利きのソムリエが皆様の御来館をお待ちしています。



県立図書館に届いた「宝本」エピソード

今回紹介していただいた宝本は、山田悠介／著の『スピン』(KADOKAWA)です。

この本は、小説好きの兄が持っていた本です。たまたま兄の机の上にあったので手に取って読んでみると、「はまった」のです。

ネットで知り合った少年6人がバスジャックをするというお話ですが、少年たちのことやたまたまバスに乗ってしまった人たちの感情を描いています。また、衝撃のラストが待っていました。あまり本(小説)を読まなかった僕ですが、それ以降山田悠介の本ばかり読んでいます。小説のおもしろさを教えてくれた「スピン」は僕の宝本です。



図書館クイズ

えほん『はらぺこあおむし』

エリック・カール/さく もりひさし/やく
(偕成社)からのクイズです。

おなかのぺこぺこなあおむしは、
もくようびになにをたべた？

①すもも ②なし ③いちご



ヒント

あかくて、あまいよ

答え、自分の名前、利用者カード番号を書いて、児童文化室にある箱に、7月14日(火)までに入れてください。正解者のなかから抽選で20人にしおりなどのプレゼントを差し上げます。

前回の答えは「②はっぱ」でした。

たくさんの御応募ありがとうございました。

図書館カレンダー

	日	月	火	水	木	金	土
6月	14	15	16	17★	18	19	20◆
	21	22	23	24★	25	26	27
	28	29	30	1★	2	3	4
7月	5	6	7	8★	9	10	11
	12	13	14	15★	16	17	18◆

○ 開館時間 火曜日～土曜日:9時～21時

※ 児童文化室は19時まで

日曜日・祝日(白抜):9時～17時

■ は、休館日

○ は、学習室のみ開室(9時～17時)

★ は、おはなしのじかん(毎週水曜日 15時30分～16時)

◆ は、土曜版おはなしのじかん(第3土曜日 14時～)

◇ は、一般閲覧室新着図書の日(6/30, 7/15【予定】)

□ は、児童文化室新着図書の日(6月23日)